

ごみ減量と3R

環境型社会を目指す為のキーワード「Reduce: リデュース」「Reuse: リユース」「Recycle: リサイクル」の頭文字を取り、3R(スリーアール)という言葉があります。3Rに取り組むことで、ごみの減量につながります。次の順番で取り組み、最終的に残ったごみは適正に処理しましょう。

3Rは順番が大切です!

1 Reduce(リデュース)⇒ごみを減らすこと



パンフレットやチラシは必要最小限の作成とする。



生ごみの水分は、ぎゅっとしぼって重量を減らす。



使い捨て用品の使用を控える。



伝票、事務書類、会議資料などを電子データ化する。



マイバッグを使い、レジ袋の使用を控える。

2 Reuse(リユース)⇒繰り返し使うもの



使用済みの封筒、フォルダーなどは内部連絡の用途に再利用する。



不要となった用紙を内部資料やメモ用紙として再利用する。



使い捨て容器ではなく、詰め替え用の商品を使用する。



不要な事務用品や備品は、必要とする他の部署に譲る。



リースやレンタル用品を利用する。

3 Recycle(リサイクル)⇒資源として再利用すること



リサイクルを意識した製品を優先的に購入・使用する。



ごみではなく「資源」として分別し、リサイクルする。



生ごみ処理機などで生ごみを堆肥化させる。



ごみの減量やリサイクルについての啓発文を職場内に掲示する。



プリンターのトナーカートリッジはメーカー回収を活用する。